



■麻酔科医向け J-MELS ベーシックコース@日本臨床麻酔学会第 43 回大会

- 日時：2023 年 12 月 9 日（土）8：00～12：00
- 会場：日本臨床麻酔学会第 43 回大会 第 10 会場（フェニックス・シーガイア・リゾート シーガイアコンベンションセンター）
- 主催：日本母体救命システム普及協議会（J-CIMELS）
- 受講対象：日本臨床麻酔学会第 43 回大会に参加の麻酔科医
- 募集人数：12 名
- 受講料：10,000 円（別途コース登録・認定料 3,000 円）
- 募集締切：募集締め切りは過ぎましたが、定員までは引き続き募集中ですのでぜひお申し込みください。
- 問い合わせ先：日本母体救命システム普及協議会
E-mail：jcmels@gmail.com
- 申込み URL：https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdCkzIsYNrX-QWrh72fVtf-IyT191TxZTOCZOigbjr3l1PmAg/viewform?usp=sf_link

■ ひとこと ■

J-MELS ベーシックコースは、主に周産期医療従事者が、母体急変時の初期対応「京都プロトコール 2020」を中心に、急変への気づき、母体急変対応について、座学やスキル実習、シミュレーションを通して学ぶものです。今回は、麻酔科医向けにカスタマイズしました。

飛び込んできた GradeA の帝王切開は実は…というような、普段の診療で陥りやすいピットフォールの対応について一緒に学びましょう。ここでしか学べないコースを目指しています。インストラクターは J-CIMELS のエキスパートの産婦人医です。

（狩谷 伸享）

■ International Conference for the Anesthesia Patient Safety (ICAPS) 2024

- 日時：2024 年 2 月 9 日（金）～11 日（日）
- 会場：京王プラザホテル
〒160-8330 東京都新宿区西新宿 2-2-1
TEL. 03-3344-0111（代表）
- 開催形式：ハイブリッド開催（現地+Web）
- 主催：日本麻酔科学会
- 共催：米国麻酔患者安全財団 Anesthesia Patient Safety Foundation (APSF)，米国麻酔科学会 American Society of Anesthesiologists (ASA)，日本麻酔科医会連合
- 会長：萬 知子（杏林大学医学部 麻酔科学教室）
- テーマ：Dawn of Anesthesia Patient Safety Worldwide 世界に広がる麻酔の患者安全の始まり
- 参加費：日本麻酔科学会会員 10,000 円（学会参加点 2 単位付与）、非会員医師 11,000 円、非会員医師以外 5,500 円、専門医共通・領域講習 1 単位あたり 2,200 円（最大 18 単位取得可能）
ライブ配信：日本麻酔科学会会員 5,000 円（学会参加点 2 単位付与）、非会員 5,500 円
- ホームページ：<https://www.c-linkage.co.jp/icaps2024/>
- 問い合わせ先：ICAPS 2024 運営事務局
〒102-0075 東京都千代田区三番町 2
株式会社 コンベンションリンクージ内
E-mail：icaps2024@c-linkage.co.jp

■ ひとこと ■

APSF のニュースレターを最初に翻訳した日本で、日本麻酔科学会が APSF、ASA とともに、世界初の麻酔安全をテーマにした国際会議 ICAPS 2024 を開催します。

プログラムは、APSF が提唱している「麻酔の安全のための Top10 priority」をもとに構成しました。すべてのセッションは日英同時通訳付きで、専門医共通・領域講習を最大で 18 単位取得可能（予定）です。

「Dawn of Anesthesia Patient Safety Worldwide」をテーマに掲げた本会議は、世界規模での麻酔安全を目指す第一歩です。日本の麻酔で最重要課題の一つである安全な麻酔管理体制について、現場の皆さんと共に考えてまいります。2024 年 2 月、東京・新宿で麻酔安全の夜明けを共に体験しましょう！
（杏林大学医学部 麻酔科学教室 中澤 春政）

*「掲示板」は、学会やセミナー、新製品、同窓会、求人などの情報提供を行うコーナーです。掲載は無料ですので、下記 E-mail、FAX などでお知らせください。その際、情報提供者からのメッセージを「ひとこと」（1～400 字）として必ず添付してください。

なお、掲載の可否、決定、校正は編集部にご一任いただきます（「ひとこと」が面白いもの優先）。

E-mail：lisa@medsi.co.jp
FAX. 03-5804-6054

■第 127 回日本産科麻酔学会学術集会（第 2 報）

●日時：2023 年 12 月 2 日（土）・3 日（日）

●会場：千里ライフサイエンスセンター（2 日のみ、講演、一般演題）

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-2

TEL. 06-6873-2010

兵庫医科大学（3 日のみ、ハンズオン、J-CIMELS コース、REBOA オンラインセミナー）

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町 1-1

TEL. 0798-45-6111

●会長：狩谷 伸享（兵庫医科大学 麻酔科学・疼痛制御科学講座）

●テーマ：寄り添う産科麻酔

●ホームページ：<https://www.c-linkage.co.jp/jsoup127/>

●事務局：兵庫医科大学 麻酔科学・疼痛制御科学講座

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町 1-1

運営事務局：株式会社コンベンションリンケージ

〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎 3-19-3 PIAS TOWER 11F

TEL. 06-6377-2070 FAX. 06-6377-2075

E-mail: jsoup127@c-linkage.co.jp

■ひとこと■

一般演題の多数のご応募をありがとうございました。白熱した議論が楽しみです。講演では会ってみたいかった「あの」演者の熱量がきっと伝わります。動画教育講演はこれまでにない豊富なラインナップです。楽しく学んで、年末の関西もお楽しみください。（狩谷 伸享）

■プログラム■

講演

「産婦人科救急～そのときどうする？～」

「流産・死産と産科麻酔/流産・死産とメンタルヘルス/流産・早産の鎮痛」

「緊急動議—どうする無痛分娩保険収載」

「産科 DIC 診断基準～37 年ぶりの改訂」

「産科危機出血のガイドライン更新，輸血，体温管理関連」

「KANSAI 特別企画—今は昔，産科麻酔」

「産科麻酔関連のキャリア論」

「無痛分娩のチームビルディング—それぞれの立場でできること—」

「妊産婦の慢性疼痛（仮題）」

「母体急変と産科麻酔」

「周産期・産科麻酔教育ガイドラインを紐解く」

産科麻酔 20 min スピーチ（動画教育講演）2023 年 11 月～2024 年 1 月予定

「レジェンドシリーズ（あのレジェンドの手元をお茶の間で！）」、「クリニカルリレー・（4 施設の）うちの無痛分娩中の輸液・（4 施設の）うちの PIEB」，「これでなんとかなる！ 助産師/看護師のための無痛分娩対応」，「硬膜外無痛分娩でのトピック～骨盤底筋群と排尿障害～」，「無痛分娩：助産師の腕が試されるとき！」，「無痛分娩に用いる麻酔方法」，「助産師・看護師が立ち上げる超緊急帝王切開シミュレーション」，「局所麻酔薬の基礎の基礎，無痛分娩中の飲食を考える」，「帝王切開術における脊麻後低血圧（第 125 回大川賞受賞記念講演）」，「精神疾患合併妊婦の無痛分娩の“寄り添い”」，「子宮破裂に気付くのはいつなのか？（仮題）」，「麻酔科医にも優しい帝王切開の基本術式と応用」，「麻酔科医にもわかる CTG」，「無痛分娩で産むママのためのバースプラン」，「超音波ガイド下陰部神経ブロック」，「産科患者の PDPH」，「周産期の腰骨盤痛」，「周産期心筋症—各科をつなぐ全身管理医の視点から」，「心疾患合併妊婦の管理プロトコル」，「帝王切開後の鎮痛管理と系統的レビュー・メタアナリシス」，「突然の意識消失！ あなたならどうしますか？—妊娠関連頭蓋内出血—」，「産科麻酔用語解説」，「母体の危機管理～宇宙・航空技術から学ぶ～」，「子宮平滑筋の生理学・分子生物学的解説」，「硬膜外無痛分娩におけるブレイクスルーペインの対応」，「赤ちゃんが泣かない!? 新生児の蘇生法」，「分娩後出血への対応 近年の動向～文献レビュー～」，「産科出血の IVR」，「ブラッシュアップ！ シミュレーショントレーニング—より効果的にするために—」

■麻酔メカニズム研究会 “Re-born 4th”（第 2 報）

●日時：2023 年 12 月 23 日（土）13 時～17 時 30 分

●会場：千里ライフサイエンスセンター 千里ルーム B（会場を変更しました）

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-2

TEL. 06-6873-2010

●開催形式：現地開催（対面方式）

●テーマ：麻酔メカニズムの伝統を超えて新しい発見に向かうために！

- 参加費：一般：2,000 円，院生/研修医：1,000 円（院生/研修医で筆頭発表者：無料）（参加登録・参加費支払いは Peatix で行う予定）
- 参加登録期間：2023 年 11 月 6 日（月）～12 月 23 日（土）
- ポスター締め切り：2023 年 11 月 30 日（木）
- Facebook ページ：右 QR コード参照
- 問い合わせ先：麻酔メカニズム研究会 事務局
E-mail：pain_innova@fbs.osaka-u.ac.jp



■ ひとこと ■

米国ユタ大学で活躍された故 上田一作先生（『麻酔 2023 年 10 月号』参照）とその留学生らが、臨床麻酔科医と基礎研究者の貴重な意見交換の場として本研究会を築きました。そして、今や“Re-born”（生まれ変わり）の名のもと、新しい世話人で麻酔メカニズムの未知なる領域に挑戦しています。

今年の研究会では、まず、麻酔の常識とされるタンパク受容体説の検証に焦点を当てます。光学異性体による効力の差が広く知られていますが、それが麻酔の受容体説を本当に裏付けるものだったのか？ 基調講演では、“タンパク質と脂質膜の決闘”と題し、光学異性体効果が脂質膜説を駆逐したのかについて迫ります。

Re-born として毎年企画する異文化の招待講演では、脳と AI を含む新たな視点からのトピックスをご紹介します。

さらに、麻酔メカニズムに限らず、新たなアイデアや研究成果を共有し、広く議論の舞台を提供するために、一般演題（ポスター形式）も広く募集します。

（世話人代表：大阪大学 生命機能研究科 中江 文）

■ プログラム ■

- 招待講演：大阪大学大学院情報科学研究科 柳田 敏雄
- 基調講演：徳島大学大学院社会産業理工学研究部 松木 均
- シンポジウム：計画中
- 一般演題（ポスター）：“麻酔/麻酔薬に関連するすべて”をテーマとして広く募集。ポスター形式にして Award（賞金あり）を設定。